

2015年度 事業計画

全般
『3年後のありたい姿』を掲げ、今年がその3年目となります。YMCAの原点に戻り、会員と協働して活動するYMCAの姿を、職員、会員と共に共有し、今年度も考えていきます。そのために私たちの活動の方向性を示し、そして参画を期待するポイントも明確にし、それらの情報を的確、かつ、迅速に会員に届けられるよう努力します。それにより一層、多くの地域の方々に関わる事が可能となり、豊かな地域社会を共に創っていく事につながっていくと考えます。
健康教育
1. 多くの子どもたちが様々なスポーツに親しみ、毎日の生活の中で、身体を動かすことが好きになる取り組みを数多く実施する。 2. 保護者も子どもたちと共にスポーツに親しみ、スポーツの楽しさ、おもしろさが共感できる機会を提供する。 3. 子どもや保護者に対するスポーツ指導で培ったノウハウを生かし、全ての人が今より健康であろうとする(wellness)運動を積極的に推進する。
野外教育
1. 定期的に子どもたちが野外体験活動に親しむ機会を提供し、野外体験のおもしろさ、楽しさを感じてもらう機会を提供する。 2. 長期休暇や連休を利用して宿泊型のプログラムや連続して複数回参加できるプログラムを実施し、グループワーク体験を深め、一人一人が全人的な成長の出来る機会を提供する。
語学・国際教育
1. 栃木県のより多くの方が多文化に触れ、国際感覚が養われる機会をより多く作り出す。 2. 地域の国際協力への意識を高め、とちぎYMCA全体で年額100万円の国際協力募金を集めることを目指す。 3. 国際共通語である英語について、より効率・実践的な英会話の習得ができる様に、実際に使う場としてのプログラム提供や、より身につくための習得方法を開発する
チャイルドケア
1. 全ての人の子育てを応援するため、未就園児や学童保育のプログラムの充実を図る。 2. 現代において子育て・子育てが大変困難な状況にあることをより多くの人たちと共有できる機会を提供する。
チャレンジド
1. いろいろな子どもたちが共に育っていける環境を整えていくため、様々なグループ活動を開発し、実施する。 2. 多くの方に理解を広めるため、また活動へのサポーターを増やしていくため、チャリティーランや講演会等を開催する。
トライ東
1. 青少年活動センター利用者に対して、ボランティアなど主体的な活動を行うために、参加呼びかけや機会をもうけ、さまざまな講座を行う。青少年の利用者として自立支援センターとの共同プログラムを考える。 2. ロビー部に青少年が気軽に集える場所としてオープンした「トライカフェ」の更なる充実をはかる。同時にカフェのボランティアを募り、養成していく。また、ロビーの掲示板や壁面を利用して、青少年の作品展示を行う。 3. あそぼの家は、乳幼児を持つ親子や子育てを終えた世代の親が相互に交流し、共に学び共に育ちあう場として再整備する。 4. 地域にある「青少年のための拠点」として、青少年に対して、学校・トライ東・家庭の流れの中で、より良い関係を築いていく。 5. 指定管理2期目は残り3年となるため、集大成としての三カ年計画を立て青少年活動センターの展望を持ち、段階を追って活動を実施し、積み上げていく。
ユース
1. 若者ボランティアを積極的に募集し、各活動で育成する 2. YMCA同盟主催の様々なワークキャンプ、国際会議等に、積極的にリーダー派遣を行う
地域支援活動
1. 各地域(宇都宮・足利・那須)でボランティアを募り、地域を豊かにする活動を実施する